

【発行所】

学校法人 大東文化学園
大東文化大学 入学センター〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1
☎03(5399) 7800 | www.daito.ac.jp/

3校と相互協力・連携に関する協定書を締結



浜松修学舎高等学校・小出敏己校長（右）

本学は、5月25日に静岡県浜松市にある浜松修学舎高等学校、6月29日に埼玉県川越市にある星野高等学校、7月1日に同県坂戸市にある山村国際高等学校と、双方の活力ある個性豊かな教育活動の推進に寄与することを目的とし、相互協力・連携に関する協定書を締結した。

主な協定内容

- 特別講義（講演や出張授業、探究学習などを含む）などの高大連携事業
- 大学及び高校の生徒・学生・教職員の交流
- ボランティア・サークル・部活動等の相互の連携及び情報提供
- その他、目的を達するために必要な事項



星野高等学校・松田友宏校長（右）



山村国際高等学校・堀尚人校長（右）

日本医療科学大学との職員の 人事交流が本格始動



日本医療科学大学・新藤博明学長（左から1番目）及び出向する国際関係学部事務室・三嶋啓仁事務長（左から3番目）

日本医療科学大学と本学の間で締結した「職員の人事交流に関する協定」に基づき、2026年6月より本学から日本医療科学大学への職員出向による人事交流を開始した。本取組は、両大学が参画する「埼玉東上地域プラットフォーム（TJUP）」の枠組みを活用したものであり、人事交流による職務経験を通じて職員の能力向上を図り、キャリア形成に資する実践的な研修の機会を提供することを目的としている。

出向初日となった6月4日には、日本医療科学大学にて辞令交付式が執り行われ、同大学の新藤博明学長（兼学校法人城西医療学園理事長）より歓迎と激励の挨拶が述べられた。今回の出向では、「IR推進室」に配属され、同部局におけるIR業務の推進に取り組む。本学はこの度の人事交流を契機として、両大学間における業務ノウハウの共有や大学運営の高度化に向け、協力体制の構築を目指していく。

NEWS

無農薬赤ワインの澱（おり）をアップサイクル! 本学学生とコーヒー専門店が新飲料を共同開発

スポーツ・健康科学部健康科学科の栄養学研究室（蕪木智子教授）の研究成果を基盤に、同学科の「食品科学実習」と連携したアップサイクル型の商品開発が進められている。今回は、埼玉県小川町の武蔵ワイナリー株式会社が無農薬製法で醸造する際に生じる副産物「赤ワインの澱（おり）」に着目し、東松山市の13 Coffeeと共同で健康飲料「ワイニーソーダ」を開発した。無農薬・澱引き剤不使用の製法から生まれる赤ワイン澱は、通常の赤ワインの5倍以上のポリフェノールを含む特許出願中の注目素材である。

健康科学科では、2022年度からの健康マネジメントコース新設に伴い、食品科学を実践的に学ぶカリキュラム等を強化し、実習授業（担当：福島洋一教授）の一環として地域資源の価値を再発見して社会へ還元する「アップサイクルプロジェクト」に取り組んでいる。また栄養学研究室では、赤ワイン澱由来のポリフェノールを活用した保存可能な「ワイニーシロップ」を作成し、これを使ったノンアルコール飲料「ワイニーレモネード」と「ワイニーヨーグルト」も開発した。



ワイン澱（左）と販売予定のワイニーソーダ（右）



学生と13Coffeeによる商品開発の様様

Report!

オープンキャンパスレポート 2026.06@東松山

6月21日、埼玉東松山キャンパスで開催されたオープンキャンパスにはおよそ2,300名の方が来場し、各イベントも大いに盛り上がった。今回参加できなかった方や、次回の参加を考えている方のために、当日の様子を学生スタッフに紹介してもらった。

受付開始

大東文化大学オープンキャンパスへようこそ！

バスを降りたらスタッフの誘導のもと、5号館にて受付をします。

埼玉東松山キャンパスへは、最寄りの高坂駅から無料のスクールバスが運行しています！



大東文化大学が丸ごとわかる！大学紹介・入試ナビ



大学紹介では、職員が大学の歴史・各キャンパス紹介・学びの特徴・個性豊かな教員陣・学部の特徴を紹介！

入試ナビでは、総合型選抜や一般選抜、桐門の翼奨学金試験など、大東文化大学独自の入試方法を徹底解説します。大東文化大学の受験を考えている方は、ぜひ参加してみてください！



全学科で開催される「体験授業」

大東文化大学は8学部20学科の総合大学で、学部の枠に縛られず様々な学びを得られることが特徴の一つです。オープンキャンパスでは全ての学科で、興味深い体験授業を実施しています。実際の大学生のように、受けたい授業を自由に選択してみましょう！



体験授業（書道学科）



総合型選抜(基礎学力テスト型)対策講座



総合型選抜(基礎学力テスト型)の学力テストを試験当日に近い環境で体験！実際の入試を想定した問題に取り組み、その場で解説まで行います。解説に加えて、おすすめの参考書の選び方など、受験生にとって有益な情報が盛りだくさんです。

ホームカミングデー2026

2023年度の創立100周年記念事業の一環としてスタートした「大東文化大学ホームカミングデー」を2026年度も開催いたします。ぜひこの機会にお友達やご家族と母校に足を運んでみませんか？2026年度は国際関係学部設立40周年！国際関係学部に関連するイベントも開催予定ですので、40年の歩みを振り返り、新しい交流の輪を広げましょう！

※ホームカミングデーの開催は10時です。スクールバス運行前の早朝待機はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
※各種イベントの申込受付は9/4まで。詳しくは本学HPをご確認ください。

詳細は
こちらから➡



DaitoEyes



学生スタッフが案内！キャンパスツアー

東京ドーム約6.5個分の広さを誇る埼玉東松山キャンパスを、学生スタッフが案内する名物イベント！空きコマの過ごし方やおすすめスポットなど、在学生ならではの「リアルな大学生活」をたっぷり紹介します。「大学生になった自分」を想像しながら、キャンパスを回ってみてください！

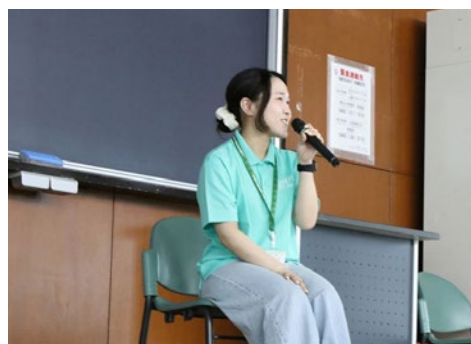


1対1で話せる！センパイとのフリートーク

センパイとのフリートークでは、様々な学科の学生スタッフが参加しており、気になる先輩へ直接相談ができます。「受験勉強について」「おすすめの授業」「就職先にはどんな選択肢があるのか」「部活動と学業の両立のコツ」「一人暮らしの不安」など、入学前の不安や準備、入学後の実際の大学生活まで、幅広い質問が寄せられました。学生からのリアルなアドバイスを通して、不安の解消や大学生活のイメージにつながる充実した交流の時間です。



ココでしか聞けない！ダイトーク



ダイトークでは、様々な学部にも所属する学生スタッフが、入試方法や対策、大東文化大学での「あるある」など、リアルな大学生活について紹介！授業の雰囲気や、授業外での過ごし方、空きコマのおすすめの過ごし方など、ここでしか聞けない話がたくさんあります。学生それぞれの過ごし方が違い、大学生活の幅広さを実感します！

次回開催日程

8月9日

開催場所:埼玉東松山キャンパス

開催時間:10時30分～15時30分

8月10日

開催場所:埼玉東松山キャンパス

開催時間:10時30分～15時30分

*埼玉東松山キャンパス・東京板橋キャンパスともに、お車での入構ができません。ご来校の際は公共交通機関やスクールバスをご利用ください。



〈実行委員レポート〉2026年度教員養成コロキウム教養イベント

あらためて学ぶ人権 ～学校では教えてくれない差別と排除の話～

6月20日、教職課程センター主催の教員養成コロキウムが板橋校舎で開催され、学生、教職員、市民を合わせて約160名が参加した。"コロキウム"とは、ラテン語の「コル（一緒に）」と「ロキウム（話す）」に語源を持つ単語で、「人と人との対話を大切にする学びの場」のことである。板橋区教育委員会の後援のもと、教職を目指す学生や教育関係者の教養を深めることを目的に、市民講座という形式で毎年実施。2016年の教職課程センターの発足から数えて、今回が通算20回目の開催である。



講師の話に熱心に聞き入る参加者たち

今回は「あらためて学ぶ人権～学校では教えてくれない差別と排除の話」をテーマに、ジャーナリストの安田浩一氏を講師に招き、学生参加のトークセッションなど行った。オープニングでは、学生実行委員長である長尾美優さん(日本文3年)の開会のことばに続き、高橋進学長が挨拶。「毎年のように色々なことを学べるコロキウムに期待しています。とくに今年は人権に関する大切なテーマなので、共に学んでいきましょう」と述べた。続いて小出高義教職課程センター所長から、来場の方へのお礼と講師紹介があった。

講演は、取材した外国にルーツを持つ子どもたちの話から始まった。差別を受けたことがある子どもたちの多くが「最初に差別のことばを聞いたのは先生からだった」という証言が紹介され、「学校の先生は子どもたちの命綱になる存在ではないでしょうか」という重要な問いかけがなされた。

安田氏の話は、なぜ差別はいけないのかという「当たり前」とも思えることを現場で取材したヘイトスピーチや差別デモをもとにしたリアルなものだった。その内容は多くの参加者に衝撃を与えるものであり、差別の深刻な被害や社会に与える影響を伝えた。在日コリアン、クルド人など日本に住む外国籍の人々に向けられる差別の刃の恐ろしさと実態を語る安田氏の姿は、ジャーナリストとしての使命と責任感にあふれるものだった。

安田氏は、そもそもヘイトスピーチが社会に広がっていった経緯や、その後施行されたヘイトスピーチ解消法の意義や問題点にもふれ、差別が単なる心掛けの問題ではなく、社会全体の構造が生み出していることを強調。またネットを中心とした差別の広がりを止めること、そのためにも学校におけるリテラシー教育の必要にも言及した。80分に及ぶ講話は圧巻であり、あっという間。多くの参加者が熱心にメモを取り、真剣な眼差しで聞き入った。

休憩を挟み、学生実行委員と安田氏によるトークセッションへ。学生からは、講演内容について感じたことや疑問に思ったことが投げかけられ、安田氏が一つひとつ丁寧に答えていった。最後に山口芽亜さん(日本文3年)による謝辞と終わりのことばが述べられ、2026年度コロキウムは盛会のうちに幕を閉じた。

大東文化大学で教職課程を履修した卒業生のみなさんへ ～2026年度卒業生支援交流会を開催のお知らせ～

教育現場は本来、夢や希望にあふれる場所です。しかし、現実には様々な苦労や困難が伴い、心や身体に負担がかかることもあります。そこで、現在、正規・非常勤を問わず学校でご活躍の方々、また教員を目指している方々の交流の場として「卒業生支援交流会」を開催いたします。7回目を迎える今回も、全国各地からの参加を可能にするため、対面とオンラインによるハイブリッド形式で実施。専門指導員やセンター教員による相談タイムも設けます。教職課程センターでは「教職を夢見る学生を一人でも多く導きたい」をスローガンに、教育現場に赴く方々へのサポートを行っていて、この「卒業生支援交流会」は、教職課程の「ホームカミングデー」としての位置づけです。過年度卒業生や、在学中に教職セミナーに参加していなかった方も遠慮なくご参加ください。



喜びや悩みをみんなで語り合いましょう！

＜2026年度卒業生支援交流会開催概要＞

- 日時:2026年8月8日 13時～ ※2時間程度を予定
- 場所:大東文化大学 板橋校舎 2号館2-220会議室
※当日はスクールバス運休のため、その他の公共交通機関をご利用ください。
※Zoom参加を希望する方は、申込時に選択してください。
- 申込方法:右記QRコードのGoogleフォームよりお申し込みください。



令和8年度社会教育主事講習 (2科目講習)の募集について

今年度も、社会教育主事講習(2科目)を開講します。

大東文化大学の社会教育主事講習は、2021年に開講し、6年目を迎え、これまでに150名以上の修了生を輩出してきました。大東文化大学のカリキュラムの特徴は、子ども、女性、ニューカマーといった貧困・格差問題に焦点を当て、リアルな社会に寄り添った社会教育士の育成を目指しています。また、受講修了後も、歴代の修了生が組織している「大東社会教育士会」が、研究会や情報交換会を開催し修了後も学びのサポートを行っています。大東文化大学の社会教育主事講習は、みなさんの学びを、生涯応援していきます。

■募集要項

受講資格:社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令(平成30年文部科学省令第5号)の施行以前に社会教育主事となる資格を得るために修得すべきすべての科目を修得している方(社会教育主事講習修了者及び大学等での社会教育主事任用資格取得者)

開講期間:令和8年10月22日～令和9年2月4日

<毎週木曜日 18:15～21:25 1日2コマ開講(合計30コマ)>

実施場所:オンライン形式(Zoomアプリケーション)

■受講申込期間

令和8年7月1日 9:00～令和8年9月25日

詳細は
こちらから➡



キャリアセンターの就職支援プログラム スタートアップガイダンス／はじめてのインターンシップ合同説明会



2,400名が参加したスタートアップガイダンス

■スタートアップガイダンスが始動

キャリアセンターでは「その時期に必要なこと」を一つひとつ準備できるように、状況や時期に合わせたサポートプログラムを実施している。4月は新3年生(28年卒)を対象に、夏のインターンシップに向けた就活準備を支えるプログラムを開催した。

キックオフとして開かれた「スタートアップガイダンス」には2,400名を超える学生が参加した。前半では、先輩の内定先や内定獲得までのプロセスといった本学ならではの事例を交えながら、夏のインターンシップの種類や参加メリットを説明。後半では、大学独自の就職支援システム「求人検索NAVI」の登録を行い、就職活動の第一歩をサポートした。参加者には本

学オリジナルの「就活手帳」を配布、具体的な就活スケジュールや選考対策などに早速目を通す学生が多く見られた。

翌週には全6回の必須講座がスタート。本講座は、就職活動に必要な知識や準備を適切な時期に段階的に学べるよう構成された実践的なプログラムである。第1回は「自己分析・自己PR」をテーマに実施。就活生が「もっと早く取り組めばよかった」と感じることの多い自己分析を中心に、企業視点をもとにした自己PRの書き方を分かりやすく解説した。第2回は、「業界研究・企業研究」をテーマに、企業研究の専門家が企業選びで陥りやすいポイントや企業の見極め方をレクチャー。知名度だけにとらわれず、自分らしく働ける業界や企業の選び方を知ることで、視野を大きく広げる機会となった。第3回は、具体的にインターンシップにエントリーする「エントリーワーク」を開催。多くの学生がその場で初めてのインターンシップの参加エントリーを実際に行った。

■はじめてのインターンシップ合同説明会

5月23日と6月6日の2日間は、2028年3月卒業予定の学生(3年生・大学院生等)を対象に、「はじめてのインターンシップ合同説明会」をオンラインで開催、1,000名以上の学生が参加した。就職活動の早期化が進む昨今、本学では、学生が焦って進路を決めるのではなく、自身の価値観や適性に合った仕事を見つけられるよう、「仕事理解・企業理解」の機会づくりに力を入れている。今回の説明会では、BtoB企業やトップシェア・ニッチトップ企業、グローバル企業など、キャリアセンターが独自の基準で厳選した115社・団体が参加。「3年後離職率が低い(長く働ける)」「年間休日数が多い」「基本給が充実している」など、学生がファーストキャリアとして納得できる企業をラインナップした。オンライン開催とすることで、カメラ・マイクOFF、スーツ不要の気軽な環境を整え、1日で最大6社の説明を聞くことができた。2日間で1,050名が参加し、企業説明の延べ視聴回数は5,856回を記録。チャットを通じた質問も活発に行われ、夏季インターンシップのイメージを膨らませるきっかけとなった。キャリアセンターでは今後もガイダンスや個別相談を通じ、一人ひとりが納得できる進路選択を全力で支援していく。

高校生のための書道講座【特別編】in板橋キャンパス



角田教授による作品講評／添削

2026年5月16日大東文化大学板橋キャンパスにおいて、書道の振興と書技の向上を目指す取り組みの一環として、「高校生のための書道講座【特別編】」を開講した。今回のテーマは「筆を持たない書道講座」。関東近県をはじめ、全国各地より書道を愛好する高校生や一般の参加者70名超が参加し、文字を書く技術の先にある「書」の奥深さや魅力に迫った。

当日は、本学の書道教授陣が講師を担当した。第1部では、東京国立博物館名誉館員の丸山猶計准教授が貴重な作品を用いて「本物を安全に扱う作法」を実演を交えて解説。第2部では、角田大壤教授と鹿倉碩齋特任講師によるライブセッションが行わ

れ、それぞれの視点から「書の制作」について熱く語り合った。

午後には、石丸真弥講師による「大東書道の歴史」紹介や高橋利郎教授による「書道学科紹介」、その後は参加講師陣と現役大学生を交えたQ&Aコーナーが催され、参加者からの質問に対する回答、アドバイスを



石丸講師による「大東書道の歴史」

行った。また、抽選会も行われ、参加した高校生や一般参加者に書道グッズがプレゼントされ、当選者は驚きや喜びを見せた。

その他、最後には高校生限定の作品講評・添削会を実施。講師陣からの熱心な直接指導に、高校生たちは真剣な表情で聞き入っていた。

全国屈指の教員数を誇る本学ならではの多様な視点に触れ、参加者からは「書の幅広さを体感できた」と感動の声が上がった。終始充実した内容となり、講座は大盛況のうちに幕を閉じた。

また、3号館3階ギャラリーにて「大東書道の歴史」展が5月27日まで開催された。

なお、夏休みには東松山キャンパスにて「高

校生のための書道講座2026」(高校生のみ)をオープンキャンパスと併催予定である。



Q&A コーナーの様子

大東書道の Instagram
～随時更新中～
@daito_shodo



大東書道100年のあゆみ展

2026年4月10日～7月24日の間、大東文化大学歴史資料館(板橋キャンパス2号館1階)において、第29回企画展「大東書道100年のあゆみ」を第1～4期に分け開催した。第1期は本学創立や教育における関係者(渋谷栄一、平沼騏一郎、土屋竹雨、塩谷温、高塚竹堂)の展示、第2期～第4期は本学書道センター設立から大東書道を支えてこられた教授陣(第2期:上條信山、松井如流、宇野雪村、青山杉雨、熊谷恒子、第

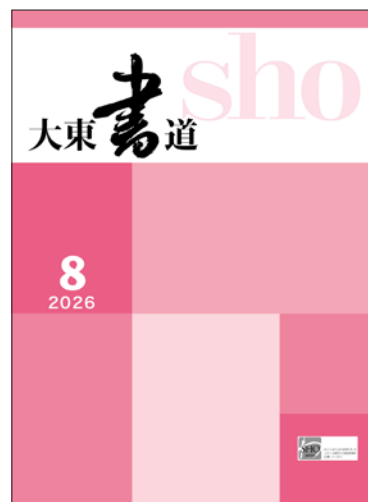


歴史資料館展示

3期:今関脩竹、永井暁舟、浅見寛洞、今井凌雪、第4期:東山一郎、村上翠亭、古川悟、久米公)の展示を行った。それぞれの書作品や貴重な資料を展示し、大学内外より多くの来場があった。また、第1～2期の展示後にはギャラリー(板橋キャンパス3号館3階)にて、「大東書道100年のあゆみ第1期・第2期(書道研究所編)」も開催した。なお、8～9月には「大東書道100年のあゆみ第3期・第4期(書道研究所編)」も開催予定である。詳細は本学ホームページ、Instagramにて確認してほしい。



ギャラリー展示



月刊「大東書道」毎月刊行中

作品募集

応募資格 一般(大学院生含)
大学生(専門学校生、高専4年生以上含)
高校生・中学生・小学生・幼児
※国籍・年齢は問いません

作品点数 半紙・条幅とも複数出品可
題句・書体 一切自由

出品情報Web入力受付期間
2026年 9月1日(火)～ 9月24日(木)

作品送付期間
2026年 9月16日(水)～ 9月25日(金)必着

■主催 大東文化大学
■後援 文部科学省・外務省・東京都・中国大使館
(公社)全日本書道連盟・(公財)全国書道振興会
全国書道高等学校協議会

■会期 2026年11月28日(土)～11月29日(日)
■会場 大東文化大学板橋キャンパス(東京都板橋区高島平1-9-1)

大東文化大学
書道研究所

■問い合わせ・作品送付先
大東文化大学書道研究所 内 全国書道振興会 〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1
Tel: 03-5399-7345 Fax: 03-5399-7346 E-mail: shodoten@in.daito.ac.jp

第67回全国書道展

全国書道展

1959年に第1回を開催して以来、本学では「書道の振興と書技の向上」を目的とし、毎年「全国書道展」を実施しており、今回で67回目を数えます。本学は今後も日本の書道文化の発展と向上に寄与してまいります。日頃の錬磨の発表場として、ご出品くださいますようご案内いたします。詳細は本学ホームページにてご確認ください。

詳細は
こちら→



DVD販売のご案内

書道研究所で作成したDVDを用いて、ご自宅で学習することができます

「書への眼差し 一大東文化大学の書」
2021～2025年度制作

〈各年度〉1セットあたり6,000円(税・送料込) ※販売のみ、添削はできません



申し込み後の流れ

- ①Googleフォームよりお申し込みください
- ②書道研究所で受付後、DVDと振込用紙をお送りします

お申し込み用
Google
フォームは
こちら→



「人との縁」が道を拓いた——本学卒業生 社会保険労務士 味園公一さん

働き方の多様化や「ビジネスと人権」への対応など、現代社会における重要性がますます高まる「社会保険労務士（以下、社労士）」。その東京都のトップ（東京都社会保険労務士会会長）であり、全国組織の副会長も務めるのが、本学経済学部経営学科（当時。2000年より経営学部経営学科に改編）卒業生の味園公一さんだ。システム営業という現場から出発し、独自の哲学で道を切り拓いてきた味園さんに、激動のキャリア、キャンパスでの思い出、そして2026年5月に新たに立ち上がった「社会保険労務士大東会」への熱い思いを伺った。

「社長になりたい」少年の転身と、 運を手繰り寄せた営業マン時代

——卒業後はメーカーでのシステム営業職に。そこから社労士を目指された理由は？

子どもの頃から「社長になりたい」と言っていたことを思い出します。大東文化大学卒業後にシステム関連企業に就職した際、父親のアドバイスで「総務部門」を希望したことも、今思えば不思議な縁を感じます。というのも「総務部門」の仕事には「人事労務」という領域が含まれており、結果的に現在の社労士という職業につながっているからです。ただ、最初は役員から「現場を知らないダメだ」と言われ、システム営業職に配属されました。好景気の余韻もある中で泥臭くお客様を回る毎日でしたが、やがて「自分でビジネスをして独立したい」という思いが再燃し、先輩から「試験は一次のみで稼げる資格がある」と聞いて社労士を目指しました。

営業をしながらの受験は本当に苦労し、実務を学ぼうと社労士事務所の面接を受けたのですが、一度は「採用枠が埋まった」と断られました。しかし私に興味を持ってくれた代表の方が「採用を1年待ってくれないか」と言ってくれて、なんとその2週間後に「すぐ来てくれ」と採用の連絡が来たんです。私のキャリアは、本当にこうした「人とのご縁」と「運」でつながっています。

社労士は「接客サービス業」 ——お金をいただき、感謝される仕事

——1997年に独立開業して、来年で丸30周年。社労士という仕事のやりがいを教えてください。

社労士は「先生」と呼ばれることが多い

のですが、私は究極の「接客サービス業」だと思っています。通常、新しいスキルを身につけるには学校にお金を払いますが、私たちは報酬をいただきながら必死に勉強してスキルを積み、成果を出せば心から「ありがとう」と感謝されます。こんなにやりがいに満ちた仕事はありません。

ここで生きたのが、ビールの注ぎ方や接客の基本を徹底的に叩き込まれた営業職での経験です。「相手を気遣う姿勢」があったからこそ、経営者の信頼も得られたのだと思います。現在は法人化し、大学在学中に社労士試験に合格した長男が実質的に業務を回してくれているおかげで、私は東京都の会長や全国の副会長としての業務にも集中できています。

キャンパスで培った「柔軟性」と、 セーフティネットとしての 「社会保険労務士大東会」

——大東文化大学での学生時代と、新たに立ち上がった「社会保険労務士大東会」への思いをお聞かせください。

当時は東松山キャンパスの周辺に地方出身の仲間が集まり、授業も遊びも常に行動を共にしていました。ラグビー部の選手と同級生で、留学生とも一緒にそろばんを習ったり、正月には級友と国立競技場へ応援に行ったりと、活気に満ちた時代でした。あの肩肘張らない「居心地の良さ」の中で培われた、誰とでも泥臭く付き合える柔軟性こそが、私の最大の武器です。

社労士は一人で開業するケースが多く、孤独になりがちな職業です。だからこそ、同じ「大東文化大学」というルーツを持つ仲間が腹を割って悩みを相談できる「心強い



熱く思いを語る味園公一さん

セーフティネット」が必要だと感じ、「社会保険労務士大東会」を立ち上げました。会議や勉強会の後には必ず宴会をセットにして（笑）、「何でも聞いてくれたら答えるよ」と言い合える温かいネットワークが、これから社労士を目指す後輩たちにとっても大きな希望になれば嬉しいです。

新時代を生きる後輩たちへ 「周りのハッピーが、巡り巡って 自分のためになる」

——最後に、これから社会に出る学生に向けてメッセージをお願いします。

AIの発展で社労士をはじめとする土業の仕事がなくなると言われることもあります。が、社労士の本質は、人が絡む千差万別のトラブル等を未然に防止し、労使双方が安心して働ける職場環境を作る「人と人との架け橋」です。多岐にわたる経験に基づく判断は、絶対にAIだけでは代替できません。

私たちが報酬をいただくお客様である経営者をハッピーにし、そこで働く労働者の皆さんをハッピーにする。そのために必死に努力して周りをハッピーにした結果が、巡り巡って「自分自身の成長や報酬（ハッピー）」として返ってくる。つまり、「周りをハッピーに

することが、最大の自分のためになるんだ」ということです。今の若い世代はコミュニケーションに少し苦手意識がある方も多いかもしれませんが、この発想を持っていれば、誰もがハッピーになれる。大東文化大学の後輩たちには、泥臭くてもいいから、自分の人生を自らの手で切り拓くバイタリティを持って、社会へ羽ばたいてほしいと願っています。



母校の校舎をバックに

プロフィール 味園 公一（みその きみかず）さん

1966年千葉県生まれ。本学経済学部経営学科卒業。メーカーでのシステム営業職を経て、1996年社会保険労務士試験合格。1997年に独立開業し、2017年に法人化。現在、東京都社会保険労務士会会長、全国社会保険労務士会連合会副会長を務め、業界の発展と社労士の地位向上に尽力。また、2026年5月設立の「社会保険労務士大東会」役員として同窓のネットワーク強化にも熱を注ぐ。

書道学科の学生ら

第1回「全国大学書道パフォーマンス大会」で最優秀賞を受賞

大学生が書の技術と表現力を披露する「第1回全国大学書道パフォーマンス大会」が大阪市内で開催され、本学の学生と卒業生で構成された「弘毅チーム」が最高賞となる最優秀賞を受賞した。

この大会は、「本格の書のステージ」を理念に創設されたもので、主催は日本書芸院と読売新聞社。全国から22チームがエントリーし、事前審査を通過した7チームが本選に進んだ。出場者は音楽や和太鼓の演奏に合わせ、縦4メートル、横6メートルの大判用紙に揮毫（きごう）する。審査員を務めたのは書家で文化功労者の高木聖雨さんと元文化庁長官の宮田亮平さんら。書の技術に加え、構成や表現力、舞台演出などが総合的に評価された。

最優秀賞に選ばれた弘毅チームは、大澤葵心さん（書道4年）、廣瀬光汰さん（書道学専攻博士課程前期課程）、麻植結太さん（2026年書道卒）、大田潤さん（2026年同卒）の4人がメンバーとして出場した。『古今和歌集』の和歌や、芸術の世界を象徴する「芸林」の文字などを、多彩な書体を用いて力強く表現し、初代の栄冠に輝いた。

最優秀賞:弘毅チーム
敢闘賞:岳豊書道教室
技能賞:京都橘大学書道部4回生
特別審査員賞:大東書楽団



最優秀賞を受賞した弘毅チーム

第26回英語スピーチコンテスト開催のお知らせ

2026年10月24日に、大東文化大学学長杯・第26回英語スピーチコンテストを開催いたします。スピーチテーマは“Taking Opportunities”。「機会をつかむ」とはどのようなことか、ご自身の経験や考えをもとに広く論じて頂き、「機会」と向き合う意味について有益な意見交換の場とすることを目指します。

高校生の部には全国の高校から、大学生の部には大東文化大学のすべての学部生がエントリーでき、入賞者には賞状および豪華賞品が授与されます。エントリーの締め切りは9月25日です。奮ってご応募ください。

- テーマ: Taking Opportunities (発表タイトルは自由とする)
- 開催日時: 2026年10月24日
- 開場: 12:30 / 開始 13:00
- 場所: 大東文化大学東京板橋キャンパス
- 本選定員: ①高校生10名(全国)、②大学生10名(大東生)
- 応募期間: 8月31日～9月25日
- 予選審査期間: 9月28日～10月2日
- 本選出場者: 予選審査(音声)を通過した者
- 本選結果通知: 10月5日予定
- 後援: 大東文化大学青桐会
- 運営母体: 英語学科・国際交流センター・外国語学会英語部会

西施の面影、トアロードのねむの木



日本語学科の「日本文学概説」では、笹原隆太郎君、藤森祐紀君、星野優衣さんが、松尾芭蕉『奥のほそ道』に取り組んでいる。元禄2年(1689)6月16日(新暦7月26日)芭蕉は出羽三山から最上川河口を経て南下し、鳥海山の麓、雨に煙る象潟(秋田県にかほ市象潟)に咲く「ねぶ(ネムノキ、合歡木)の花」を、中国の絶世の美女・西施の面影に喩えた。

風景一眼の中に尽きて、南に鳥海、天をささへ、その影映りて江にあり。(中略)江の縦横一里ばかり、^{おもかげ}「松島」に通ひて、また異なり、「松島」は笑ふがごとく、「象潟」は^{おもむ}憾むがごとし。寂しさに悲しみを加へて、地勢魂を悩ますに似たり。

象潟や 雨に^{せいし}西施が ^{ねぶ}ねぶの花 (『奥の細道』『象潟』)
白居易の友・元稹が「西施の顔色 今何くにか在る」(『和漢朗詠集』草)と詠じ、芭蕉が象潟で思い起こしたねむの木は、雨や曇りの日には葉を閉じて眠るように佇む。6～7月には紅色の雄蕊が長く伸びて、白い糸のような淡い花が光を散らすように咲く。

かつて海に面した南北約5kmの象潟の潟湖には、多くの島々が点在し、八十八潟・九十九島を一望する景勝と賞された。しかし、

文化元年(1804)6月の出羽国象潟地震によって一帯は隆起し、海は陸へと変わり、景観は一変したという。

象潟や 今は見る目のかひもなし 昔ながらの姿ならねば
(古河古松軒『東遊雜記』)

目の手術を終えて、久しぶりに帰った実家から見晴らすと、六甲の山なみが迫りくる新緑の中に、見覚えのある淡いピンクと白のねむの花がくっきりと浮かびあがった。

神戸・トアロードの並木道の街路樹も、聖ミカエル教会の大本も、ねむの木だった。このマメ科の落葉高木は、15cmもある大きな茶色い莢の中に10粒以上の種を実らせる。

わが家の庭では、亡き父が県庁前のトアロードで拾ってきて植えた種が、いまや古木となり、今年も花を咲かせている。その種が山へ飛んで、芽吹いたのだろう。トアロードのねむの木の3代目は、木々のなかでいつのまにか大きく育ち、神戸の港を静かに見下ろしている。ほのかな薄紅の花影は7月の風に揺れて、遠く過ぎ去った時間をそっと呼び寄せた。

(偲)

プロムナード

本当に久しぶりに神戸・新開地の喫茶店「歌舞伎」を訪ねた。

阪神・淡路大震災後の1996年に営業を再開して以来、一度も足を運ぶことができなかったのも、実に三十年余りの再訪ということになる。

店内に入ると、磨き込まれたカウンターや、壁に並んだコーヒークップが目に入った。記憶の中の店と大きく変わらないように見える。ブレンドコーヒーを注文し、しばらく店内を眺めていると、昔と同じ時間が流れているような気さえた。

しかし、考えてみれば、この「変わらなさ」は積み重ねの結果に過ぎない。その間には震災からの復興があり、街の変化があり、経済環境の変化もあった。三十年余りという長い時間の中で、多くの人々が店を支え、日々の営業を積み重ねてきたからこそ、今日の「変わらない風景」があるのである。

香り立つ復興の歲月

店内には、震災後の歩みを紹介した新聞記事が掲示されていた。そこには、震災で被害を受けながらも営業を再開し、新開地の街とともに歩み続けてきた店の歴史が記されていた。

阪神・淡路大震災から三十年余りが過ぎた。現在の神戸を歩いていると、震災の痕跡を見つけることは容易ではない。整備された街並みを見れば、復興はすでに終わったかのように見える。

しかし、本当の復興とは何だろうか。道路や建物が元どおりになることだけではないだろう。こうした店が営業を続け、人々が集い、街の日常が受け継がれていくこともまた、復興の一つではないかと思う。

一杯のコーヒーを飲みながら、そんなことを考えた。(四阿)

桐風

「トゥキディデスの罫」というのは、米国際政治学者アリソン・グレアムの造語であるが、紀元前五世紀にギリシャの哲人トゥキディデスが『戦史』で著した「覇権国スパルタと新興国アテネとのペロポネソス戦争」の分析を踏まえている。覇権的国家と新興国が対峙する状況では、多く疑心暗鬼と畏怖感とから「双方が望まない戦争」がもたらされるというのである。先の米中首脳会議では習近平主席が米中両国は「トゥキディデスの罫(修昔底德陷阱)」を回避して新大国関係のパラダイムを構築できるだろうかと発言してメディアの注目を浴びた▼ひるがえって1982年、戦間期の緊張は覇権的リーダーシップの不在に由来し、最終的には第二次世界大戦に連なったとしたキンドルバーガーの所説を基に、碩学ジョセフ・ナイは2017年「登場した米トランプ政権が国際秩序の維持に意欲を失い、他方、台頭著しい中国もこの空白を埋める力量を持たない」として、いわゆる「キンドルバーガーの罫」論を

提示し、国際社会に警鐘を鳴らした▼習近平は2018年、国家主席の任期を二期と限った憲法を改正し、事実上「終身続投」を可能にした。他方トランプは「わたしに国際法は必要ない。わたしを止められるのはわたしの倫理観のみである」と公言して憚らない。G2を自負する両国だが、ともに国際秩序・正義への関心は眼中にない最高首脳によって率いられている▼今世紀の転換点に、「1999年には暗黒の大魔王が降臨する」として国際的な災厄の到来を告げた「ノストラダムスの大予言」というのが人口に膾炙にして人心を惑わしたことは記憶に新しい。不運なことに現状は「トゥキディデス」と「キンドルバーガー」という「二重の罫」に陥っているのではあるまいか。文字通り臆病で心配性の桐風子は、あと二年余を残す第二期トランプ政権の治下に国際社会に大規模な戦火が燃え上がったらしいことを念じて已まない。

【虹二重気がりなるはその彼方 双掌】
【素録】

ウォッチング……………28



〈終着駅〉
某鉄道・T駅にて

〈今、あなたにとって、かけがえのない芸術作品を、一点だけ選ぶとすれば、何でしょうか?〉

ある雑誌の小特集へのアンケート依頼である。例の「無人島に持っていきたい一冊」に似た趣意だが、意外に難問だ。それでも、強いて選べばどうなるか。

絵画では、マーク・ロスコの色面抽象画「無題——白、黒、灰色そしてマルーン」(チューリッヒ美術館所蔵)。音楽ならば、マーラーの交響曲9番となるだろうか。名演奏が数ある中で、あえてカレル・アンチェル指揮によるチェコ・フィルのCD(スプラフォン)を選ぶ。

では、文学は? ナボコフの『記憶よ、語れ』か。しかし、さすがに仕事柄このジャンルで一点を選ぶのはもの狂おしい。やや

アンソロジーの勧め 中村邦生

あって、「今」に限定された選択であることに注意が向く。日々、生の実感の更新とともに、選ぶ対象は異なり、変化し得る。

ここで「今」の私の答えのようものに近づく。自ら作品を選び、そのつど位置づけを考え、編成作業をしていく自家製アンソロジーの案出だ。

アンソロジーとは何か、基本的情報を簡単におさらいしておきたい。アンソロジー(anthology)とは、「花」と「摘む」すなわち「花束」を意味するギリシャ語に由来する言葉で、すぐれた詩篇を集成した詞華集のことである。現代では詩という一つのジャンルに限定せず、小説やエッセイなど、さまざまな名作をある一定のテーマにそってまとめた文学集成を指す。テーマは多岐にわたり、家族、友情、初恋といった人生論的なもの、動植物、スポーツ、食べ物、ファッション、音楽、小道具、場所など、およそ人間の生活の万般に関わる。

私は若いころからアンソロジーに関心があり、偏愛のあまり、ミカンやレモンなどの柑橘類、それと火事の描写の出てくる文学作品のアンソロジー・リストまでも作ったりしていた。その数十年後、『生の深みを覗く』、『この愛のゆくえ』(ともに岩波文庫)と題した古今東西の名篇アンソロジー制作は、ことのほか楽しい仕事だった。

あらためて自宅のアンソロジー専用の書架を確かめていくと、

多種多様なテーマの本が目に入る。趣味の固有性が文学的愉楽と結びついている点で、最も羨望を覚える本は、池内紀・安野光雅編『燐寸文学大全』。アンデルセンやオー・ヘンリーなどの文学作品から、燐寸(マッチ)に言及した一節を集めた一書だ。都市別テーマの『上海コレクション』、歴史的に重要な『世界原爆詩集』、事件物の『忠臣蔵傑作選』、気持ちのなごむ『夏休み』、ひとときユニークな『卓球アンソロジー』、アメリカから出版された『水しぶき——水泳作品選』、イギリス文学の『毒薬』……と、挙げるときりがない。

読書好きの人には、関心のあるテーマによる自家製のアンソロジー制作をぜひ勧めたい。この営みは、作品間の共通性と対比性を吟味しながら、作品同士のあらたな関係の場を創り出す、知の横断的思考を刺戟する。

ところで、久しぶりにアンソロジー棚を眺めているとき、奥から忘却の彼方に沈んでいたアンソロジー案のファイルが現われた。〈終着駅〉をテーマにしたもので、トルストイ『アンナ・カレーニナ』、宮澤賢治『銀河鉄道の夜』、松本清張『砂の器』、寺山修司の短歌などが書きつけてある。再開してみようか、との思いが動く。

冒頭に記した「今、この一点」の回答案がひらめく。それは〈終着駅〉のゆくえを見届ける試みとなろう。

第4回全日本大学バスケットボール新人戦で準優勝



敢闘賞の和田拓磨選手(2年)を中心に記念撮影

7月7日から12日に松山市総合コミュニティーセンター、愛媛県武道館で開催された、第4回全日本大学バスケットボール新人戦にて、男子バスケットボール部は準優勝の結果を収めた。敢闘賞には和田拓磨選手(スポーツ科2年)、優秀選手賞にはンジャイ パブンデリ セク選手(英語1年)、アシスト王には三浦悠太郎選手(スポーツ科1年)が選出された。次の8月中旬から開催予定の第102回関東大学バスケットボールリーグ戦において、さらなる活躍が期待される。

【大会結果】

第1試合(7月8日)
京都産業大46ー〇88大東文化大

第2試合(7月9日)
日本経済大66ー〇86大東文化大

準々決勝(7月10日)
〇大東文化大67ー58日本大

準決勝(7月11日)
〇大東文化大75ー57白鷗大

決勝(7月12日)
●大東文化大87ー94江戸川大

第110回日本陸上選手権大会で 舟木宝月選手が第5位入賞



舟木宝月選手(左)と宮下峻選手(右)(撮影:陸上競技部短距離)

6月12日から14日にかけてパロマ瑞穂スタジアム(愛知県名古屋市)で開催された「第110回日本陸上競技選手権大会兼愛知・名古屋2026アジア競技大会日本代表選手選考競技会」に、陸上競技部から5名が出場した。そのなかで、舟木宝月選手(現代経済4年)が男子200mにおいて第5位入賞の結果を収めた。準決勝では日本学生歴代9位の20秒39の記録をマークした。

舟木 宝月 選手のコメント

この度は、温かいご声援をいただき誠にありがとうございました。日本の陸上競技における最高峰の舞台である、日本選手権に初出場を果たしました。結果は第5位で、惜しくもアジア大会への出場には届きませんでした。この大舞台での経験を大きな財産とし、次こそは頂点に立てよう精進いたします。

宮下 峻 選手のコメント

初の日本選手権は、目標としていた決勝進出には届かず、準決勝5着という結果でした。しかし、ランキング的にも挑戦者として臨んだ中で、準決勝の舞台でしっかり戦えたこと、惜しいと思えたことは大きな自信になりました。「日本一」という目標が現実として見えたことも大きな収穫です。この経験を糧に、さらに成長し、日本一を目指して走り続けます。たくさんの応援、本当にありがとうございました。

【大会結果】

競技	順位	選手名	記録
男子100m	準決勝1組 第5位	宮下峻選手(スポーツ科4年)	10秒28
男子200m	第5位	舟木宝月選手	20秒84
男子5000m	予選1組 第14位	大濱遥真選手(社会経済3年)	13分49秒38
女子1500m	第12位	相場茉奈選手(教育4年)	4分20秒29
女子3000mSC	第17位	丸山あおい選手(日本文2年)	10分36秒30

剣道部 男女5名の剣士が全国大会で奮戦



全国大会出場の5名の選手

5月6日・10日、第72回関東学生剣道選手権大会・第58回関東女子学生剣道選手権大会が開催され、出場14選手のうち工藤丈士選手(法律4年)、中塚嵐琉選手(国際関係3年)、藤原広貴選手(国際関係2年)、佐藤駿乃介選手(政治2年)、松村紗季選手(看護2年)の5名が全国大会(日本武道館)への出場権を獲得した。7月4日・5日の第74回全日本学生剣道選手権大会では工藤選手と藤原選手がベスト32、同日開催の第60回全日本女子学生剣道選手権大会では松村選手が初戦で惜敗。大東剣士たちの奮戦を称えると共に今後の活躍が期待される。

国際大会2大会でテコンドー部 卒業生がメダルを獲得

6月20日オーストラリア・ゴールドコーストで開催された2026オーストラリア国際テコンドー選手権大会(G2)で、前田秀隆さん(2025年スポーツ・健康科学専攻科卒=後藤回漕店)が男子63kg級銀メダルを獲得した。

女子では、村上智奈さん(2025年国際関係卒=ムジャキフーズ)が6月18日開催の2026プレジデントカップ・オセアニア国際テコンドー選手権大会(G3)女子49kg級、6月20日開催の2026オーストラリア国際テコンドー選手権大会(G2)女子49kg級でそれぞれ銅メダルを獲得した。



村上智奈さん
(2025年国際関係卒=ムジャキフーズ)



前田秀隆さん(2025年スポーツ・健康科学専攻科卒=後藤回漕店)

首都大学野球連盟 オンラインストア『COLLEGE MARKET』に参画決定

学校法人大東文化学園は一般財団法人首都大学野球連盟と、オンラインストア『COLLEGE MARKET』を通じ、硬式野球部を支援する協賛契約を締結した。オンラインストア『COLLEGE MARKET』で販売される本学硬式野球部グッズの売上の一部が、部活動資金として活用される。



グッズの
ご購入はこちらから



大東スポーツはスポダイホームページで
(紙面協力/体育連合会スポーツ大東編集部)

